



# ホット・ほっと

Vol.33

## 目次

- 1 令和3年度 利用者満足度調査結果 速報
- 2 横浜市総合保健医療センター3階に介護医療院を開設しました!
- 3 誰もが安心して自分らしく暮らすことができる社会の実現へ向けて  
～「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」のご紹介～

しらさぎ苑 通所リハビリテーション

コラム ● 認知症と食事について

## 1

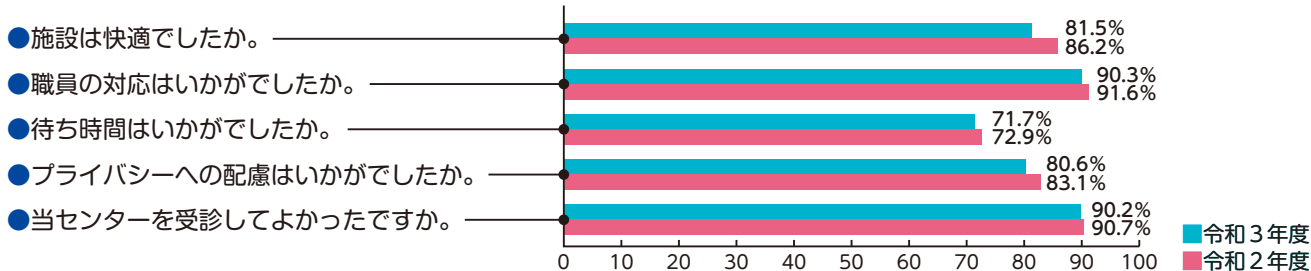
# 令和3年度 利用者満足度調査結果 **速報**



外来部門・通所部門ともご利用者の皆様から高い評価をいただきました

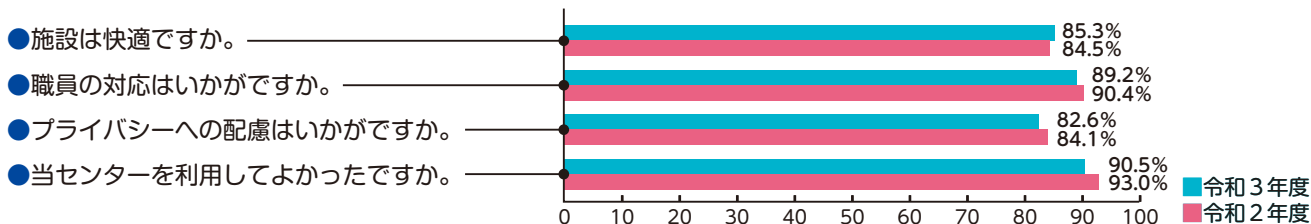
### 外来部門

有効回答数に対する「とてもよい」と「よい」の割合は次のとおりで、概ね良い評価をいただきました。



### 通所部門

有効回答数に対する「とてもよい」と「よい」の割合は次のとおりで、概ね良い評価をいただきました。



この調査結果を踏まえ、より一層の改善に努め、引き続きご利用者の皆様に満足していただけるよう取り組んでまいります。

# 横浜市総合保健医療センター3階に 介護医療院を開設しました!

「介護保険法の改正により介護療養病床の令和5年度末での廃止が決定されたことを受け、横浜市総合保健医療センター介護療養病床(12床)を令和3年度末をもって廃止し、令和4年度から新たに介護医療院(12床)」を開設しました。

## 介護医療院とは

要介護者で長期にわたり療養が必要である方へ、医療ケアや介護サポートを行う長期療養施設としてだけでなく、**日常生活を送る生活施設としての役割を担っている施設**です。

## 介護医療院になるとサービスはこう変わります

1

長期に日常生活を送っていただけるようプライバシーの確保に努めてまいります。このため、療養室の改修を行いました。



2

長期療養にふさわしい生活環境と日常的な医学管理、症状が重症化しても最期まで必要な介護・医療ケアを提供する体制を整えました。



この他、介護施設と同様に、入浴の介助、排泄の介助、など日常生活上のサービスも行います。



今後も、ご利用者の皆様が快適に療養生活を送っていただけるよう職員一同努めて参ります。

お問い合わせ先

総合相談室 ☎045-475-0103

3

誰もが安心して自分らしく暮らすことができる社会の実現へ向けて  
 ～「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」のご紹介～



「住み慣れた家で暮らし続けたい」、「好きな場所へ出かけたい」、「友達と色々なことを楽しみたい」、「得意なことを活かして働きたい」などの一人ひとりの希望がかなうよう、現在、「精神障害にも対応した包括ケアシステム」の構築が進められています。精神障害の有無や程度にかかわらず、「誰もが安心して自分らしく暮らすことができる」ための地域づくりが市内の各区で行われています。

最近では略して「にも包括」と呼ばれているこの考え方は、人と人、人と社会のつながり、一人ひとりが生きがいを持ち、助け合いながら暮らしていけることを大切にしています。

横浜市では「本人や家族が安心して相談できる仕組み」や「お互いに支え合える仕組み」など、6つの仕組みづくりの視点から、このシステムの構築が進められています。詳しくは「第4期横浜市障害者プラン」をご覧ください ([https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/plan/4th\\_plan.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/plan/4th_plan.html))。



当センターの地域精神保健部門でも「にも包括」の考えに基づき、「医療（訪問看護やデイケア）」、「生活（生活訓練や生活支援センター）」、「就労（就労訓練や就労支援センター）」が一体となって、ご利用者一人ひとりのリハビリが実現できるよう支援を展開しています。また、区や市の「協議の場（地域づくりのための対話と協議の場）」への参画を通して、地域の関係機関の方々と一緒に地域づくりを進めています。

※厚生労働省の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援のポータルサイトはこちらです。

<https://www.mhlw-houkatsucare-ikou.jp/report.html#sec202101>



# しらさぎ苑 通所リハビリテーション

感染予防対策を徹底しご利用お待ちしております!



雰囲気はどう?



どんなリハビリテーションをするの?

おいしいお昼ご飯は出るの?

見学・体験利用の送迎も実施しています。ご相談ください。

(お食事をされる方は実費をいただきます)

お申込み・お問い合わせ ☎045-475-0132 (担当 齋藤 山口)

※お気軽にご相談ください (10時から17時まで)

## コラム

### 認知症と食事について



認知症の主な症状としてBPSD(認知症の行動・心理症状)がありますが、BPSDを悪化させる要因の一つに「便秘」が挙げられます。

便秘を解消するために、食事のできる取り組みをご紹介します。

#### 食物繊維は足りていますか?

穀類・果物・豆類・海藻類を食事に取り入れましょう。



#### 水分は足りていますか?

1日に必要な水分の量は、体重1kgあたり25~30mlとされています。体重60kgの方なら1日に1500~1800mlが目安です。(疾患があって医師から水分量を指示されている方は医師の指示に従ってください)



#### お腹の調子を整える善玉菌を摂っていますか?

ヨーグルト・納豆・キムチなどの発酵食品には善玉菌が含まれます。善玉菌のエサとなる、果物・豆類・海藻類も一緒に食べるとより効果的です。

## 施設案内

横浜市総合保健医療センター TEL/045 (475) 0001  
FAX/045 (475) 0002

- ◆精神障害者支援部門 (精神科デイケア・生活訓練・就労訓練・就労支援センター)
- ◆介護老人保健施設(しらさぎ苑) 80床 (認知症専門棟30床・一般棟50床・通所リハビリテーション)
- ◆診療所 内科・精神科(認知症診断を実施) 特定健康診査・横浜市健康診査 医療病床7床
- ◆介護医療院 12床
- ◆訪問看護ステーション「みんなのつばさ」
- ◆シニアフィットネス

◆港北区生活支援センター TEL/045 (475) 0120  
FAX/045 (475) 0121

#### 神奈川区生活支援センター

TEL/045 (322) 2907  
FAX/045 (322) 2908

#### 磯子区生活支援センター

TEL/045 (750) 5300  
FAX/045 (750) 5301

## 交通案内



- ・JR横浜線または市営地下鉄「新横浜駅」から徒歩約10分
- ・新横浜駅から市営バス300系統「浜島橋」下車徒歩1分
- ・第三京浜港北インターチェンジから車で約5分

★横浜市総合保健医療財団は、指定管理者として、横浜市総合保健医療センター及び神奈川区・磯子区の各生活支援センターの運営を担っています。

発行日/令和4年4月

発行 公益財団法人横浜市総合保健医療財団 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1735番地  
TEL/045 (475) 0001 FAX/045 (475) 0002 ホームページ/https://yccc.jp